職場があと押し!

# 職場があと押し!パパの19時スイツチ。



子育でしやすいように職場環境を整えることで、福利厚生の拡充はもちろん、従業員のやる気創出や業務の効率 アップが期待できます。こうした取り組みの積み重ねが少子化克服への一歩につながります。

子どもは社会の宝。県内企業による仕事と子育てを両立しやすい環境づくりの取り組みとその成果をご紹介します。



# 株式会社シグマソリューションズ(秋田市)

業種/情報通信業 従業員数/180名 http://www.sigma-sol.co.jp/

株式会社シグマソリューションズは、電子カルテや診療報酬明細、処方箋などのコンピューターシステム開発を手がける医療系ITの先進企業です。秋田市を拠点に北海道、東北、首都圏に8つの支店営業所を展開し、システム開発、販売、サポートなどの総合的なIT環境を提案。一般にはあまりなじみがないイメージですが、処方箋にQRコードをつけて事務処理を短縮したり、写真つきの薬の説明書を同封することで安全な投薬をサポートするシステムの開発も同社が行いました。





## すばらしい人生を築く職場づくり…両立支援とコミュニケーションの場

同社では「会社は社員がすばらしい人生を築く場」でありたいという考えのもと、仕事と家庭の両立支援に10年以上前から取り組んできました。短時間勤務の活用や、子どもの行事などで休みやすい環境は従業員にもすつかり定着しています。また、従業員それぞれの仕事や職場への思い、プライベートの状況なども自由に役員に伝える年1回の自己申告制度、趣味やプライベートを含めた自由なプレゼンテーションの場「じぶん発表会」など、社内の風通しをよくするとともに、コミュニケーションの機会を増やしています。ただ、毎週水曜のノー残業デーは部署によっては定時退社が難しいことがあり、今年になって制度を改善。仕事の状況に応じてほかの曜日を従業員個々人が宣言する試みで、もっと効率よく仕事を切り上げリフレッシュを!と呼びかけています。



# 従業員から



サポート&サービスセンター 秋田センター 秋田第3チーム リーダー **石野**さん



システム開発部開発1課 鎌田さん

# 子どもとの時間を楽しむ定時退社の工夫

子育て世代を対象とした休暇はごく当たり前に取得できる環境となっていて、育児にも意識して関わってきました。特にノー残業デーは、子どもたちが一緒に遊ぼうと楽しみにしているので仕事の効率も上がります。工夫次第で、定時退社するための働き方ができるんですね。

## 仕事に合わせてノー残業デーを調整し、さらに活用しやすく

仕事柄、ノー残業デーでも定時退社が難しいことがありました。でも仕事の進捗状況に合わせて自由に設定できるようになり、家族と過ごす時間も増えそうです。今年生まれたばかりの二男の入浴ももっと手伝いたいですね。

職場から



人事企画部部長 田牧さん

# | 働き方を見直しさらにポジティブに、新しいアイディアにも期待!

会社を従業員のすばらしい人生を作る場所とするには、常に新しいアイディアや自由な発想を生み出すコミュニケーションの場を作ることが重要です。また、家庭やプライベートの充実も、よりよい仕事のための大切なエネルギー源となります。

仕事と家庭の両立にはいち早くさまざまな取り組みをしていますが、全社一斉に定時退社を呼びかけるには限界があったのも現状です。各自がノー残業デーを設定することで、残業の習慣化に歯止めをかけ、定時退社できる働き方へとつながればと考えています。そして、さらにポジティブな働き方や新しいアイディアが生まれることに期待しています。



仕事も家庭も充実し、やる気アップ! 残業の習慣化に歯止め